



市長コラム

文 / 笠間市長 山口 伸樹

「処理施設整備の 2大事業」



現在のごみ処理施設「笠間市環境センター」

今後、市で進めていく行政サービスの大規模事業として、「一般廃棄物処理施設（ごみ処理）」と「し尿処理施設」の整備があります。

ごみ処理施設は、現施設の隣接地を建設予定地として令和10年開設を目標に整備を進めています。現施設は開設して31年となり、老朽化が進んでいることから、新施設を整備するものであります。

し尿処理施設は、現在、笠間市は2つの組合に所属しています。笠間地区は、桜川市と構成している筑北環境衛生組合、友部地区と岩間地区は、茨城地方広域環境事務組合であり、それぞれでし尿処理を行っています。茨城町にある処理施設が41年経過しているため、新しい施設の整備を機会に、茨城町と笠間市で新たに事務組合を設立し、令和12年を目標に新施設を整備していく予定です。新施設では、市内すべての地区のし尿処理ができるようになります。

両施設とも多額の整備費がかかります。整備費の削減や脱炭素に向けた最新の機能、運営コストなどの検討について、他の自治体の施設を参考にしながら準備を進めています。整備にあたっては、市民の皆さんへ説明会や情報提供を適時行いながら、これらの2大事業を実施してまいります。

今月 Pick up



11月30日

「いい看取り・看取られは
「人生会議の日」です

「自分が望む、人生の最終段階の
医療・ケアについて
話し合ってみませんか」

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約7割の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

厚生労働省では「人生会議」をより多くの方に知ってもらうために、アニメーションを用いたショートムービーを作成しています。ぜひご覧いただき、この機会に考えてみませんか。



アニメーション1
「大切にしていることを
信頼できる人へ話そう編」



アニメーション2
「こんな私のストーリー編」

どの世代の方も
考えてみよう、自分の人生。
今までのこと、
そしてこれからのこと。



厚生労働省ホームページ
「人生会議」してみませんか

問 健康医療政策課 TEL.0296-77-9145